

事故防止に向けた政策動向

平成29年10月

厚生労働省労働基準局安全衛生部

職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請

(1/2)

- 労働災害の発生件数は、労使の皆様をはじめ、関係各位のご尽力により長期的には着実に減少してきており、特に死亡者数は、去年は2年連続で過去最少となりました。しかしながら、休業4日以上之死傷者数は、去年は前年より増加し、平成29年も減少傾向がみられない状況です。また、平成29年は死亡災害が夏場に急増し、対前年比で9.6%(8月末現在)の増加となっております。この傾向が続けば、死傷災害、死亡災害ともに前年に比べ増加という極めて憂慮すべき事態も十分想定されます。
- 特に、8月単月では、死亡災害は、前年同月比57.1%の大幅な増加となっており、ここ最近発生した死亡災害を個別にみると、基本的な安全管理の取組が徹底されていないことによるものが多数見られ、企業の景況感が改善する中、人手不足が顕在化し、安全衛生管理体制がおろそかになっている状況が懸念されます。
- 一方、第12次労働災害防止計画では、死亡災害、死傷災害ともに平成24年比で平成29年までに15%以上減少させることを目標としていますが、平成29年度が最終年度であり、上記の労働災害発生状況を踏まえると、相当の危機感を持って労働災害防止対策に取り組む必要があります。

- 労働災害は本来あってはならないものであり、特に死亡災害の撲滅を目指した不断の取組が必要です。また、労働災害のない職場づくりは、人材を確保・養成し、企業活動を活性化する上でも、大きなメリットをもたらします。事業者の皆様におかれましては、死亡災害の撲滅及び労働災害全体の減少に向け、基本的な安全活動の着実な実施・確認という原点に立ち返って企業の安全衛生活動を今一度総点検していただくよう要請いたします。
- その上で、労使の皆様をはじめ、関係者が一体となって以下の取組を徹底し、労働災害防止に努めていただきますよう、併せて要請いたします。
 - 1 安全作業マニュアルの遵守状況を確認するなど、職場内の安全衛生活動の総点検を実施すること
 - 2 安全管理者、安全衛生推進者、安全推進者等を選任し、その職務を確実に遂行させるなど、事業場の安全管理体制を充実すること
 - 3 雇入れ時教育等を徹底するなど、効果的な安全衛生教育を実施すること

平成29年9月22日

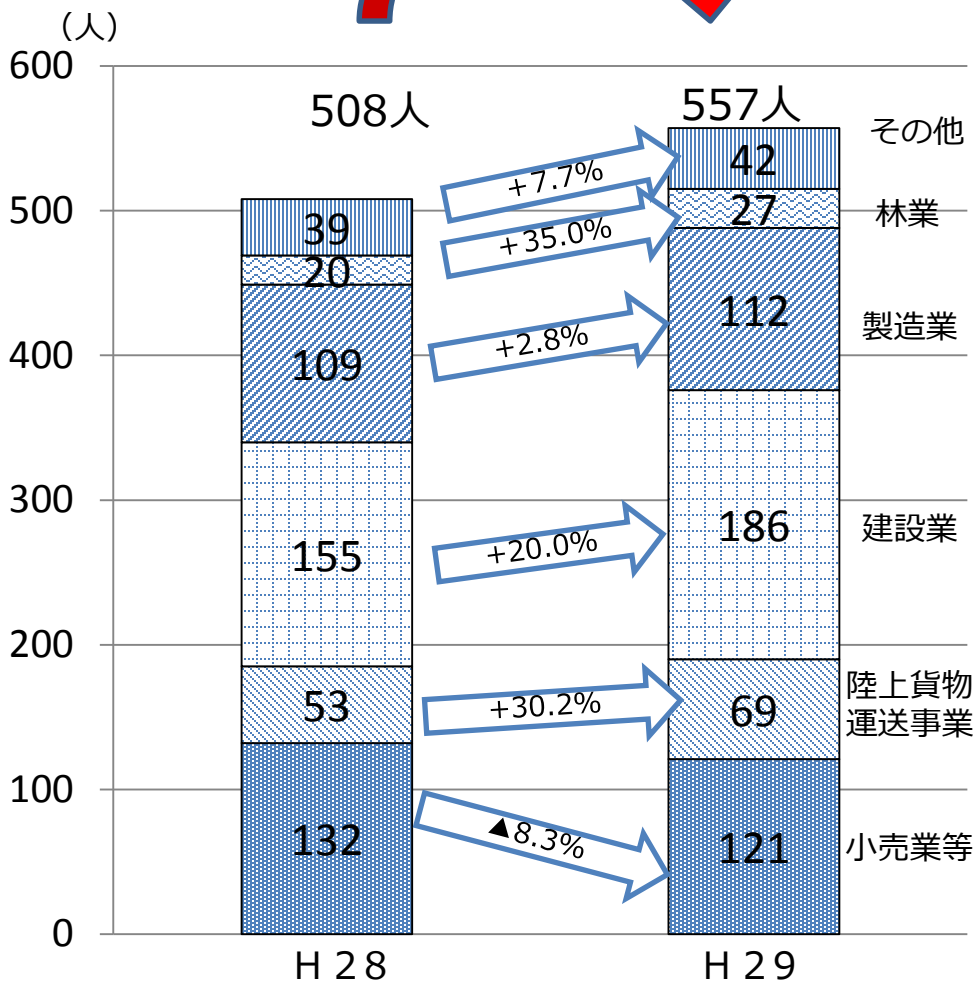
厚生労働省労働基準局

安全衛生部長 田中 誠二

労働災害発生状況（平成29年1月～8月の速報値）

死亡災害

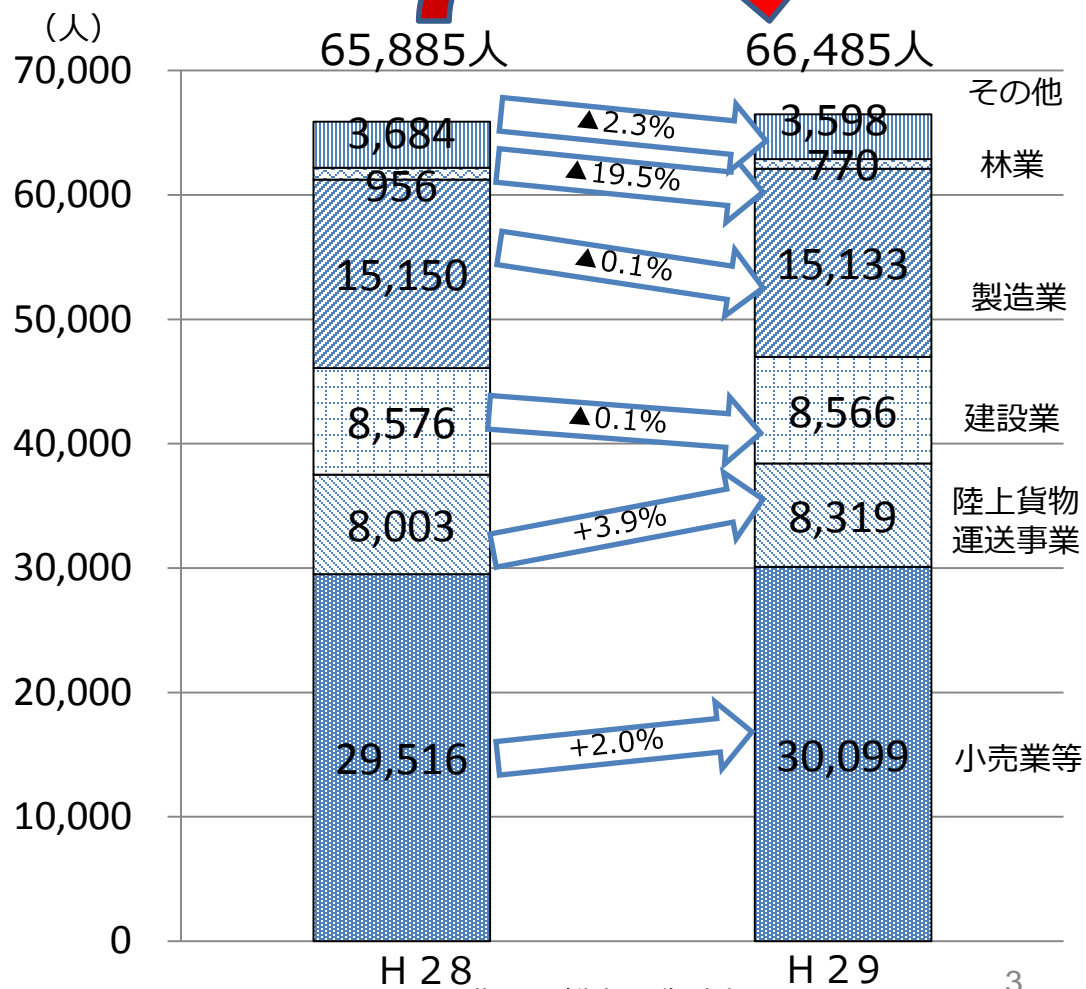
+49人(+ 9.6%)



出典：死亡災害報告

休業4日以上之死傷災害

+600人(+0.9%)

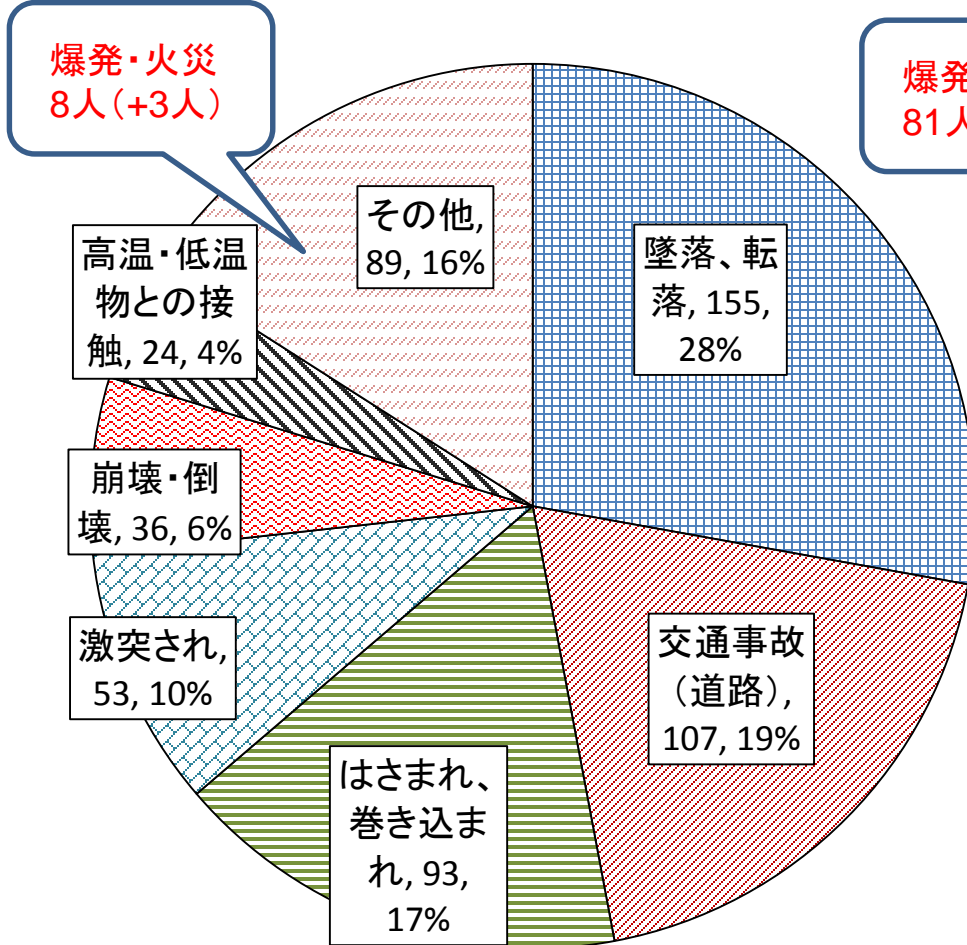


出典：労働者死傷病報告

事故の型別労働災害発生状況(平成29年1月～8月の速報値)

死亡災害

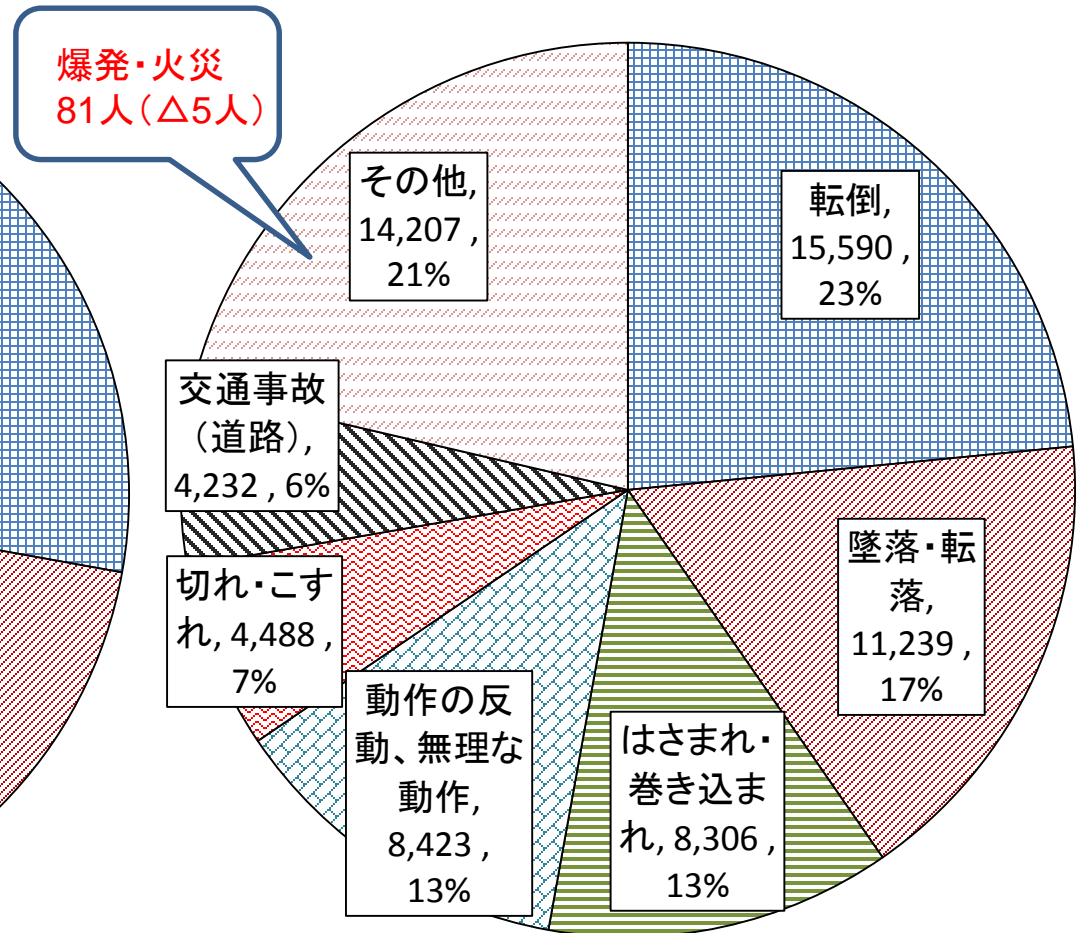
557人、前年同期比+9.6%



出典：死亡災害報告

休業4日以上の死傷災害

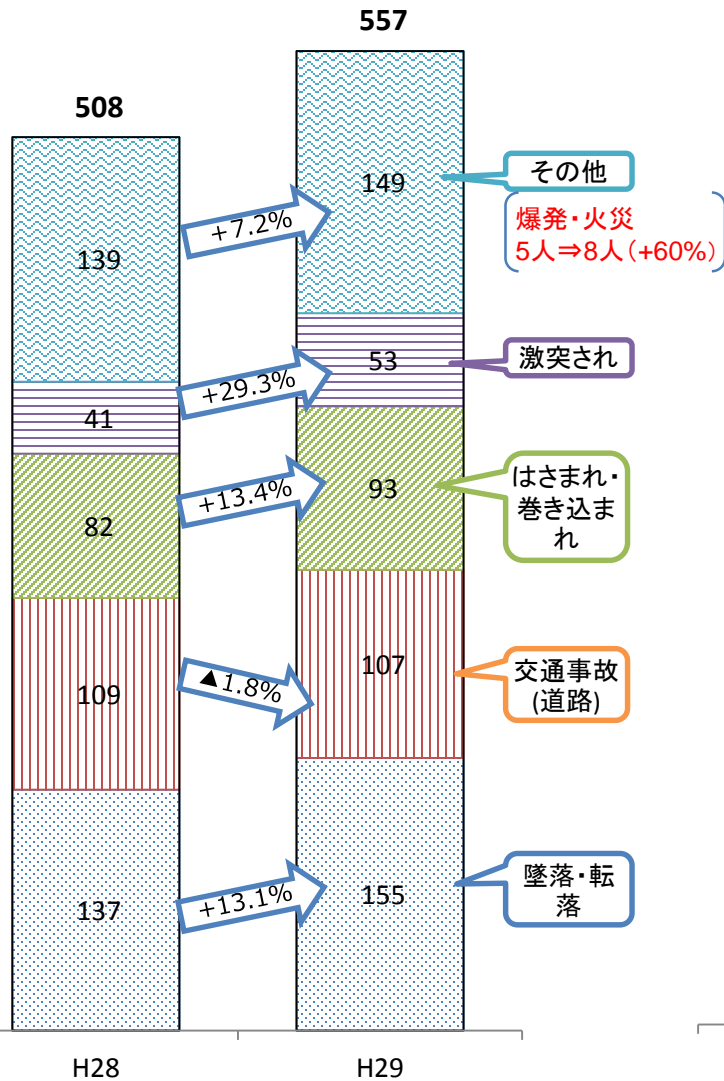
66,485人、前年同期比+0.9%



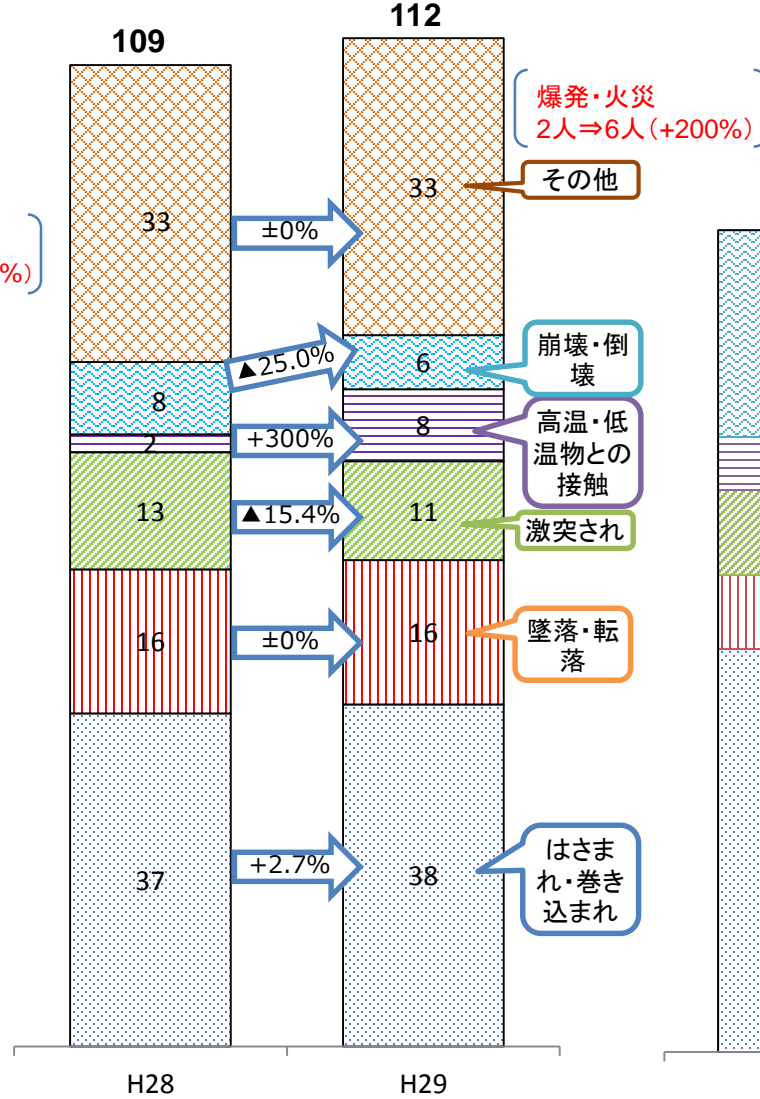
出典：労働者死傷病報告

業種別死亡災害発生状況(平成29年1月～8月の速報値)

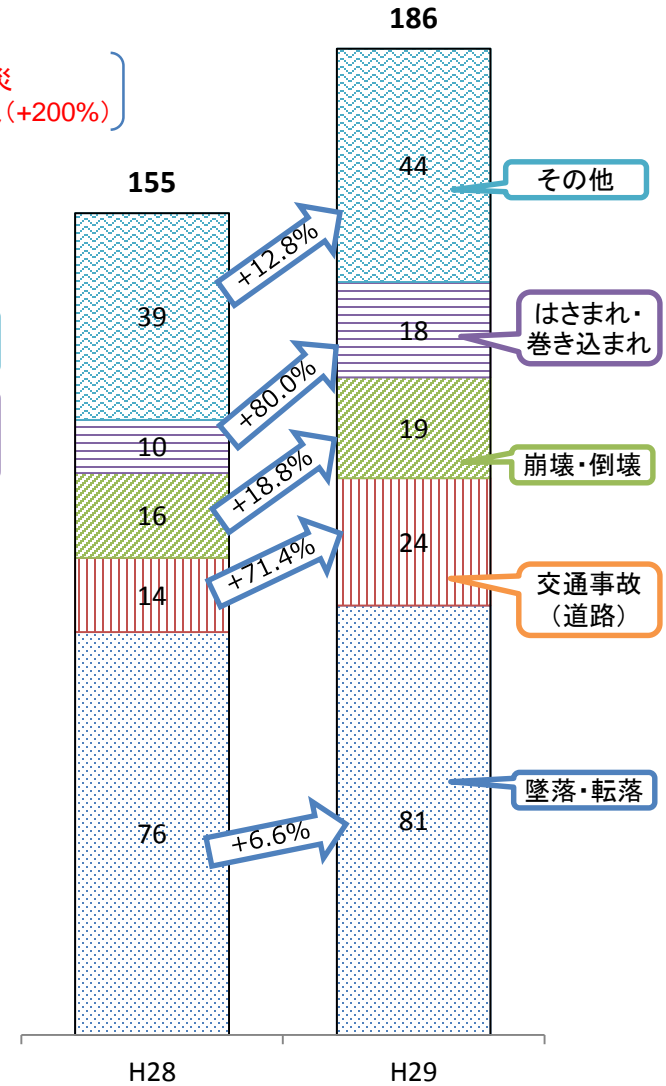
全産業



製造業

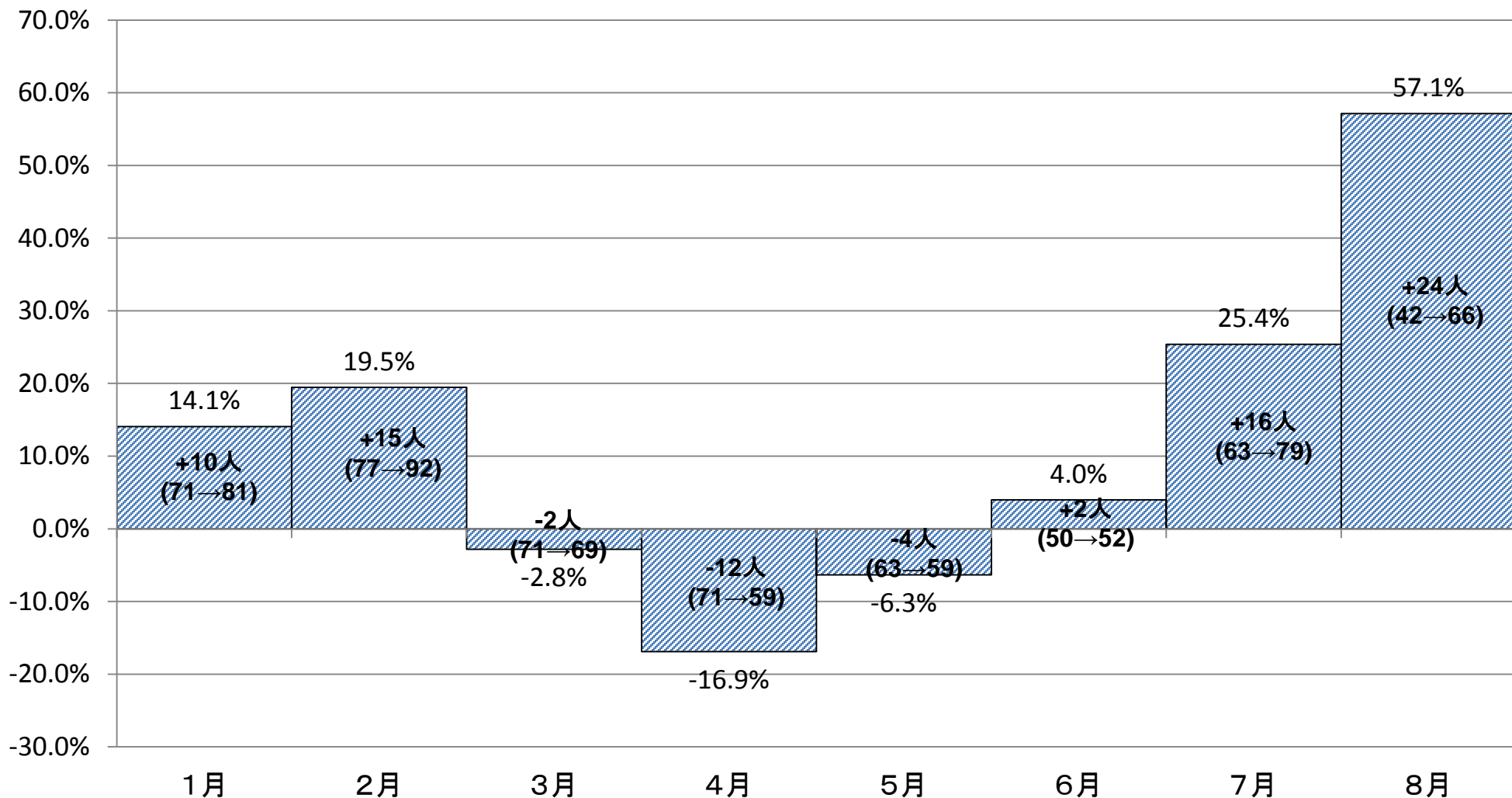


建設業



出典：死亡災害報告

月別死亡災害発生状況 (平成29年1月～8月の速報値と平成28年同時期との比較)



出典：死亡災害報告

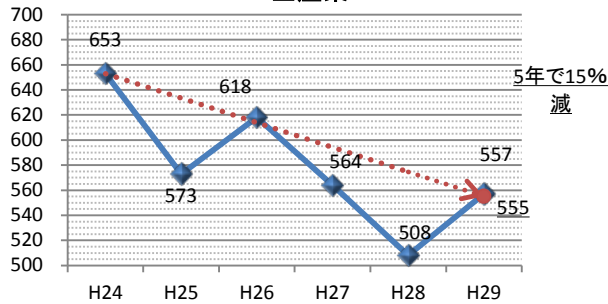
第12次労働災害防止計画に関する状況(1月～8月の速報値の比較)

- 【目標】 ○ 平成29年までに、労働災害による**死亡者数を15%以上減少**させる(平成24年比)
 ○ 平成29年までに、労働災害による**死傷者数(休業4日以上)**を**15%以上減少**させる(平成24年比)

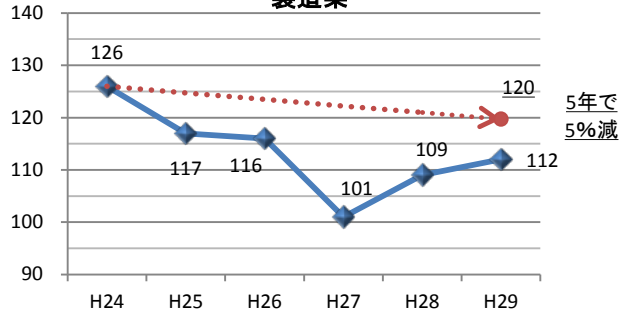
死亡災害

- 平成24年よりも14.7%減少
- 製造業は同11.1%減少
- 建設業は同20.2%減少

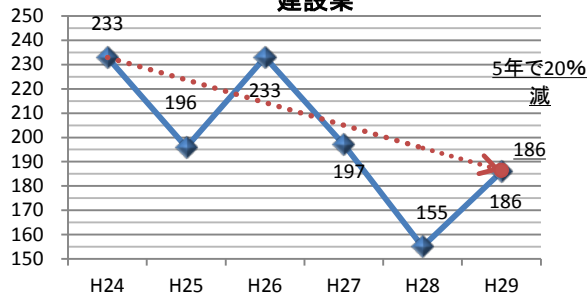
全産業



製造業



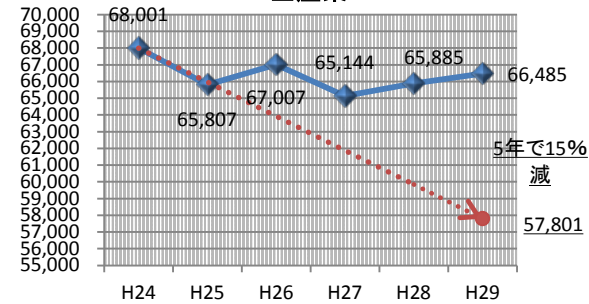
建設業



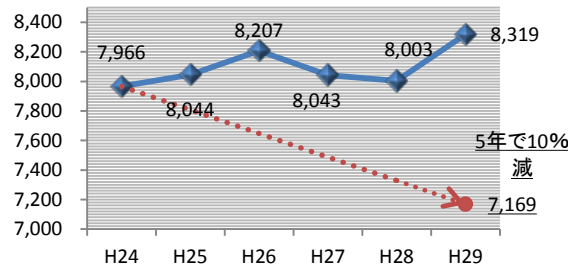
休業4日以上の死傷災害

- 平成24年より2.2%減少
- 陸上貨物運送事業は同4.4%増加、小売業は同1.9%増加
- 社会福祉施設は同32%増加、飲食店は同12%増加

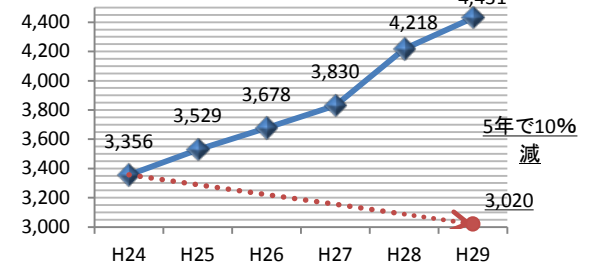
全産業



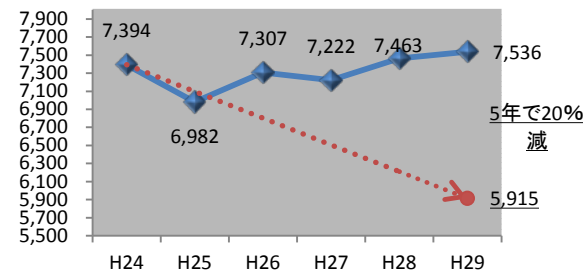
陸上貨物運送事業



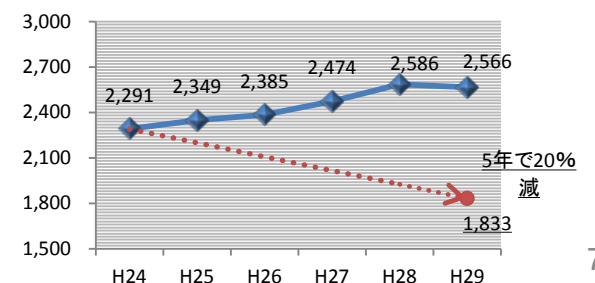
社会福祉施設



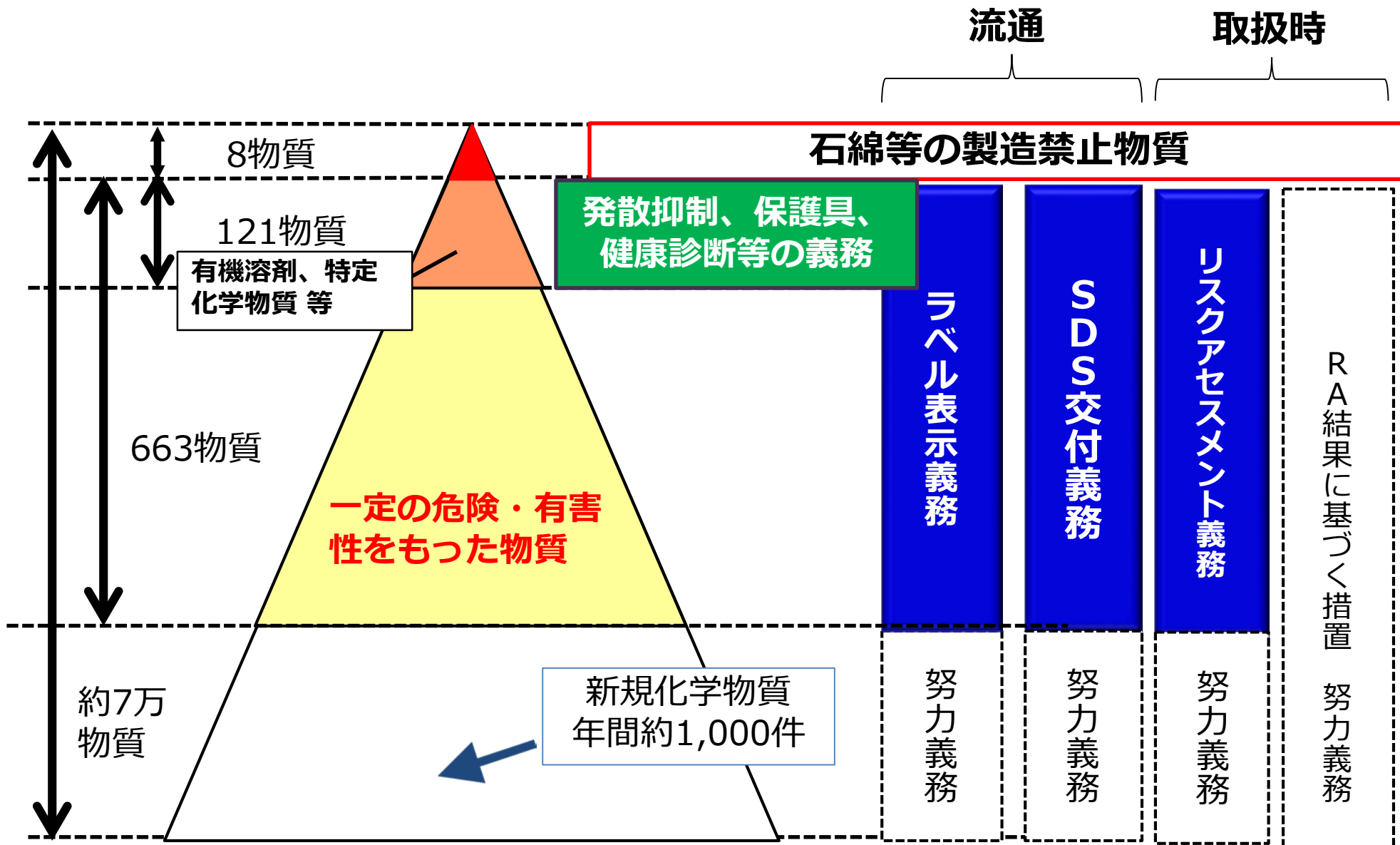
小売業



飲食店

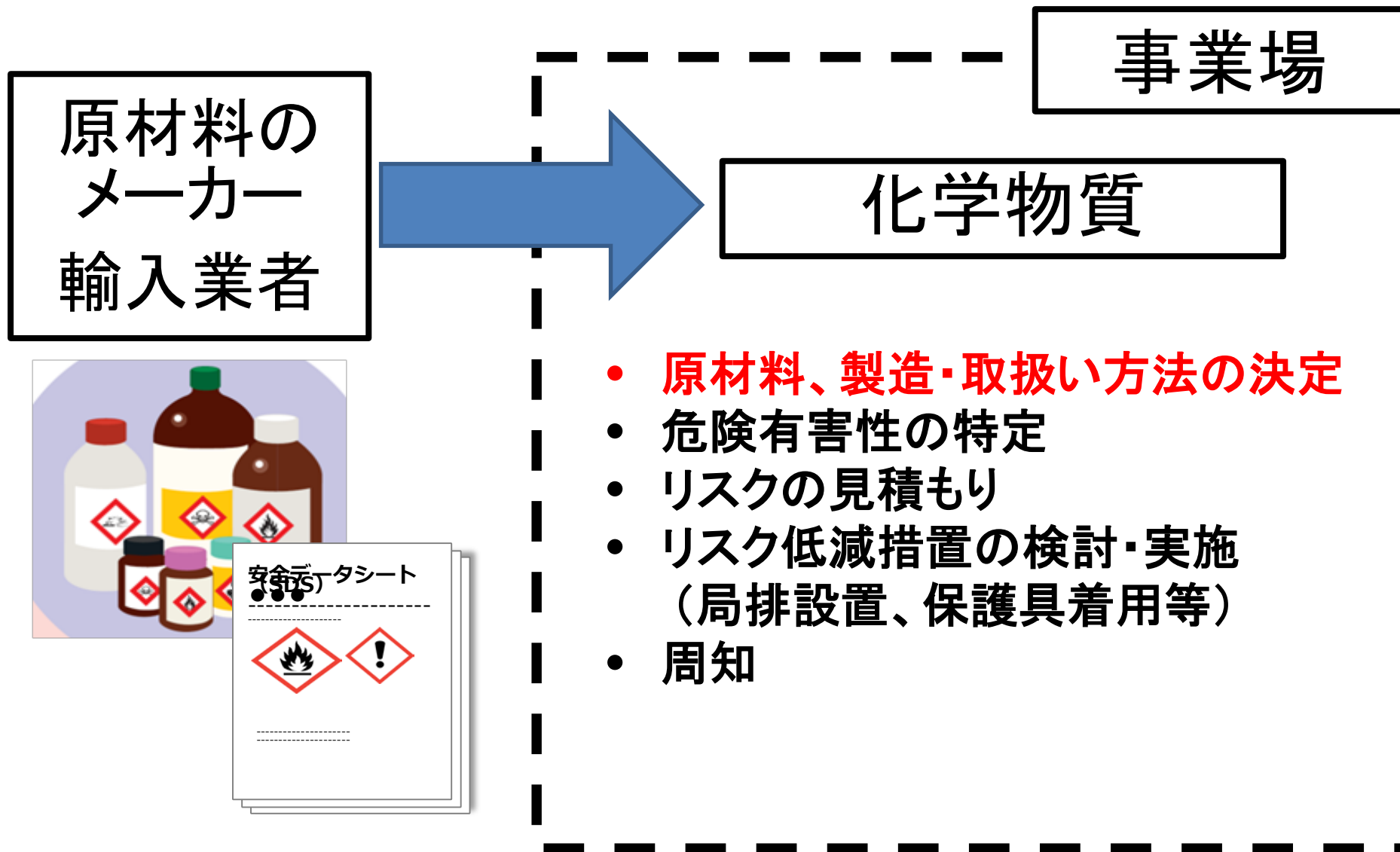


労働安全衛生法令における化学物質管理体系(概要)

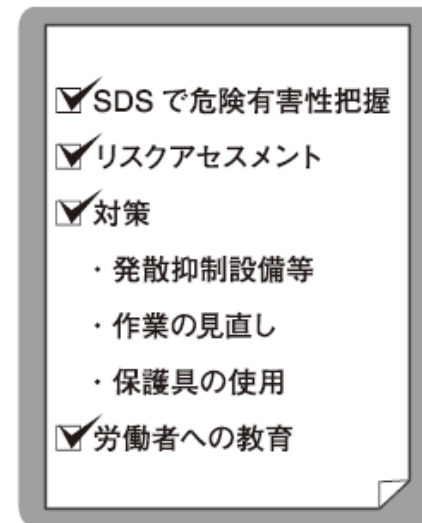


※ 物質数はH29.10.1時点。「121物質」は、安衛令別表第9等(663物質)の数え方とあわせており、省令(有機則、特化則等)の数え方とは一致しない。「約7万物質」は労働安全衛生法上の名称公表物質の概数。

危険有害性情報の伝達とRA



ラベルでアクション!



製品が来る

ラベルを見る

アクション
今すぐ**安全対策**

公開中の主な化学物質リスクアセスメント支援ツール等

●掲載先／■主体	概要(掲載情報)
<p>●職場のあんぜんサイト (http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07.htm) ■厚生労働省</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 化学物質リスク簡易評価法(コントロール・バンディング) <ul style="list-style-type: none"> ・液体等取扱作業(粉じん作業を除く) ・鉱物性粉じん又は金属性粉じん発生作業 ✓ 検知管を用いた化学物質のリスクアセスメントガイドブック ✓ 爆発・火災リスクアセスメントスクリーニング支援 ツール ✓ 工業塗装、印刷、めっき作業のリスクアセスメントシート
<p>(職場のあんぜんサイトからリンク) ●ECETOC-TRA サイト ■欧州化学物質生態毒性・毒性センター(ECETOC)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ECETOCが開発したリスクアセスメントツール(ECETOC-TRA)。EXCELファイル(英語版)をダウンロードして作業方法等を入力することで定量的な評価が可能。日本語マニュアルあり。((一社) 日本化学工業協会が日本語版を提供 (会員又は有料利用。))
<p>(職場のあんぜんサイトからリンク) ●EMKG Software 2.2 ■the Federal Institute for Occupational Safety and Health(BAuA)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 独安衛研(BAuA)が提供する定量的評価が可能なリスクアセスメントツール(英語版) ✓ EMKG-EXPO-TOOL(EMKG 2.2 からばく露評価部分を抽出)